

つくば市記者会 御中

発信日：令和8年（2026年）9月10日（木）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

☐取材依頼 ☐周知依頼 ☐募集告知 ■その他

柳沢正史教授の2026年アルバート・ラスカー 基礎医学研究賞の受賞について



やなぎさわ まさし

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構長の柳沢正史教授が令和8年9月9日（水）、アルバート・ラスカー基礎医学研究賞を受賞しました。

このことを受け、市長コメントを送付します。

【市長コメント】

このたび、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）の機構長を務める柳沢正史教授が、世界的に権威のあるアルバート・ラスカー基礎医学研究賞を受賞されましたことに、つくば市を代表しまして心よりお祝い申し上げます。

柳沢教授は、私たちの生活と健康に深く関わる「睡眠」の研究において、新規生理活性ペプチド「オレキシン」の発見や、過眠症であるナルコレプシーの病態解明などの画期的な成果を挙げられ、その研究が過眠症や不眠症の治療薬の開発につながるなど、世界の医学の発展と人々の健康増進に大きく貢献されました。こうした長年にわたる功績が高く評価され、今回の栄誉ある受賞に至ったことを大変誇りに思います。

つくば市では、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構との「睡眠課題の発見と解決に向けた連携に関する協定」に基づき、市職員を対象とした睡眠実証研究を実施してきました。実証研究を通じて、睡眠の質の向上や健康増進等の知見を得ることができ、柳沢教授が切り開いてこられた睡眠科学の成果を今後の市民の健康づくりやウェルビーイングの向上に還元するための貴重な取り組みとなりました。

柳沢教授の研究が、これからも世界中の人々の健康と幸福に貢献するとともに、更なる飛躍を遂げられることを期待しております。

つくば市長 五十嵐 立青